

少数台数のリコール届出の公表について (平成28年9月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成28年9月は8件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：フォルクスワーゲングループジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
9月7日	外 2372	車 名 : フォルクスワーゲン 型 式 : ABA-16CPL 通称名 : VW ザ・ビートル 2.0T	2	平成27年12月15日～ 平成27年12月15日
不具合の部位等	原動機において、シリンダーヘッドの燃料配管取付部の穴開け加工が不適切なため、穴の径が大きいものがある。そのため、ねじ山が正確に加工できず、燃料配管取付ボルトの締付力が低くなり走行振動等によって緩み、そのままの状態で使用を続けると、燃料配管ががたついて燃料が漏れ、最悪の場合、火災に至るおそれがある。			

2. 届出者：メルセデス・ベンツ日本株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
9月15日	外 2378	車 名 : メルセデス・ベンツ 型 式 : CBA-117952 他 通称名 : メルセデス AMG CLA45 4M SB 他	5	平成27年12月15日～ 平成28年 1月23日
不具合の部位等	オートマチックトランスミッションにおいて、ダブルクラッチの製造が不適切なため、内部部品の溶接強度が不足しているものがある。そのため、エンジンからのトルクによって溶接部に亀裂が入り、そのままの状態で使用を続けると、溶接部が破断して警告灯が点灯し、最悪の場合、エンジンからトランスミッションへ動力が伝わらず、走行不能となるおそれがある。			

3. 届出者：メルセデス・ベンツ日本株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
9月15日	外 2379	車 名：メルセデス・ベンツ 型 式：CBA-190377 他 通称名：メルセデス AMG GT 他	73	平成27年 7月22日～ 平成27年10月18日
不具合の部位等	カーボン製プロペラシャフトと金属製フランジの接着作業が不適切なため、結合部の接着力が低いものがある。そのため、エンジントルクでプロペラシャフトとフランジの接着が剥がれ、エンジンからトランスミッションへ動力が伝わらなくなり、最悪の場合、走行不能となるおそれがある。			

4. 届出者：メルセデス・ベンツ日本株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
9月15日	外 2380	車 名：スマート 型 式：DBA-453042 他 通称名：フォーフォー 他	26	平成28年 5月30日～ 平成28年 6月 7日
不具合の部位等	オートマチックトランスミッションにおいて、パーキングロックを作動させるコネクタとケーブルの取り付けが不適切なため、シフトをPレンジに操作すると、コネクタとケーブルの接続が外れることがある。そのため、Pレンジでパーキングロックが作動しなくなり、駐車ブレーキをかけずに駐車すると、車両が動き出すおそれがある。			

5. 届出者：メルセデス・ベンツ日本株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
9月15日	外 2381	車 名：メルセデス・ベンツ 型 式：CBA-205387 通称名：メルセデス AMG C63S クーペ	66	平成28年 3月28日～ 平成28年 7月28日
不具合の部位等	車両前面下部に取り付けられているフロントリップスポイラーの取り付け作業が不適切なため、フロントリップスポイラーを誤ったスクリューで取り付けられたものがある。そのため、走行時の振動等によってスクリューが緩み、最悪の場合、リップスポイラーが脱落し、他の交通を妨げるおそれがある。			

6. 届出者：フォルクスワーゲングループジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
9月20日	外 2373	車 名 : ベントレー 型 式 : ABA-BSBWR 通称名 : コンチネンタル フライングスパー	7	平成19年 6月19日～ 平成20年 6月20日
不具合の部位等	サンルーフ付き車両において、サンルーフの製造が不適切なため、サンルーフガラスとフレームの接着力が低いものがある。そのため、使用過程で接着力が低下すると、走行中の風圧によってサンルーフガラスが脱落するおそれがある。			

7. 届出者：コベルコ建機株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
9月30日	3896	車 名 : コベルコ 型 式 : UDS-EG04 通称名 : RK700-2	10	平成27年 4月 7日～ 平成28年 8月 4日
不具合の部位等	方向指示器および車幅灯において、作業指示が不適切なため、塗装時に取り外したバルブを組付ける際、誤ったバルブが組み付けられたものがある。そのため、方向指示器の明るさが不足し、保安基準第41条第2項に適合しないおそれがある。			

8. 届出者：日野自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
9月30日	3902	車 名 : 日野 型 式 : LKG-FW1EZBG 他 通称名 : 日野プロフィア 他	67	平成22年 8月31日～ 平成27年 8月25日
不具合の部位等	大型・中型トラックのインタアクスルディファレンシャルにおいて、インプットシャフトフランジの製造が不適切なため、インプットシャフトの回転バランスがとれていないものがある。そのため、インプットシャフトの回転がアンバランスとなり、ベアリングが損傷し、そのまま使用を続けると、ベアリングが焼き付き、インプットシャフトが折損して、最悪の場合、プロペラシャフトが脱落して走行不能となるおそれがある。			

※平成28年9月30日、公表済み

【参考】

●平成28年9月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	16 (- 8)	14 (- 1)	2 (- 7)
輸入車	12 (- 5)	6 (- 7)	6 (+ 2)
小計	28 (- 13)	20 (- 8)	8 (- 5)

※ () 内は、対前年同月比

●リコール届出件数及び対象台数 (平成28年度)

〈速報値〉

月				対 象 台 数		
	国産車	輸入車	合 計	国産車	輸入車	合 計
4	17(-5)	12(+11)	29(+6)	1,983,793(-29,759)	26,163(+26,065)	2,009,956(-3,694)
5	9(-10)	4(-11)	13(-21)	105,591(-4,258,536)	3,211(-63,982)	108,802(-4,322,518)
6	28(+10)	11(-3)	39(+7)	4,733,139(+4,072,121)	100,979(+79,887)	4,834,118(+4,152,008)
7	23(+3)	14(+2)	37(+5)	960,458(-1,479,908)	23,973(+12,708)	984,431(-1,467,200)
8	15(+13)	3(-2)	18(+11)	149,613(+148,952)	410(-2,164)	150,023(+146,788)
9	16(-8)	12(-5)	28(-13)	1,549,950(+558,329)	126,119(+74,688)	1,676,069(+633,017)
小計	108(+3)	56(-8)	164(-5)	9,482,544(-988,801)	280,855(+127,202)	9,763,399(-861,599)

※ () 内は、対前年比

(問い合わせ先)

国土交通省自動車局審査・リコール課
リコール監理室 和田・杉本
電話 03-5253-8111 (代表) (内線 42353・42355)